

Example Report

BIOPLUS SAIJO DESIGN

有限会社 ビオプラス西條デザイン

取材・文／布施さおり 撮影／萩野孝行



札幌市：1邸
我が家マーク

落ち着いた住宅地にある1邸。できるかぎりの電力を自分でまかなえるよう太陽光発電蓄電システムを使用



「子どもたちも家を離れ、夫婦ふたりの老後を考えて時に、札幌の住まいを自分たちで始末することにしたんです。判断力、精神力、気力、体力がある60代のうちに行動しようと決めました」。住み慣れた札幌を離れ、道内でも雪が少ない伊達市へと移住したI夫妻は、第二の人生をスタートさせたきっかけをそう振り返る。ところが住まいづくりは思うように進まず、新築を諦めかけていた時にたまたまネットで見つけたのが「ビオプラス西條デザイン」だった。「環境と健康に配慮したエコロジー空間のデザイン」、「道産無垢材やホタテ漆喰などの自然素材を用いた住宅」を目指す会社の

姿勢は、地球に負荷をかけない暮らしを描く夫妻のイメージと重なった。「モデルハウスで初めて社長と出会った時に、誠実な方という印象を持ちました」。いつも庭づくりをお願いしていたガーデナーさんの知り合いだった偶然もあり、「社長も奥さまも嘘のない方よ」との言葉に背中を押されて設計・施工を依頼。北海道新聞の過去連載や、「オーガニック」「家庭菜園」に取り組み西條社長の一面は知っていたオリジナルのカレンダーまで持っていたが、自然派住宅を手がけるもうひとつの一面は会ってから初めて知ったのだとか。

おふたりが大切にしたのは「地球環境に優

しい家」であること。お気に入りの骨董品が置ける和室があること。そして、以前の家で使っていた扉や照明など、使えるものは活用することだった。4つのプランからスタートした設計は「このプランのここがいいね」と選ぶように煮詰めながら、当初希望していた平屋建てから、庭のスペース確保のために2階建てに変更。将来のことを考えて、1階だけでも生活可能な設計にするなど、限られた条件の中で何を大事にするか考えながら取捨選択していった。「西條さんは、スイッチやコンセントの位置ひとつとっても、理由を説明をしてくださって。納得しながら家づくりを進めることができました」。

60代の夫婦が将来のために選んだ、
環境に負荷をかけない暮らし



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 / 庭は月形町の「コテージガーデン」に依頼。以前の住まいから木々を移植してもらった |
| | 3 | 2 / リビングダイニングからは、キッチンや和室を一望。 |
| | 4 | ホタテ漆喰の壁は、場所によって表面の仕上げが変えられている |
| | | 3 / 江別のレンガを敷き詰めた玄関。納戸へ続く左の扉は、かつての家で使っていたもの |
| | | 4 / 庭に面した縁側は、ご夫婦のくつろぎスペース。和室は雪見障子なので景色も楽しめる |

単独・合同資料請求番号
会社情報を見る P000

0



リビングにあるテレビ台と棚。今は奥さま手作りのトールペイントなどが飾られている



札幌から伊達への移住で距離はあったが、「建築中も、伊達支店の西條専務が写真をメールしてくれたので安心でした」

外壁はスギ、床板はナラ、トイレの腰板はトドマツ。どれも北海道産の無垢材だ。室内の壁はホタテ漆喰や珪藻土、天井には土佐和紙、玄関のタイルは江別産のレンガといった自然素材が使われている。まるで料理のレシピのように建材の「産地」がわかることは、「ビオプラス西條デザイン」の大きな特長だ。北海道で育った自然の建材は化学臭がしないので、室内は木の香りに満ちている。製造にエネルギーを使わない建材を選び、輸送にもコストをかけない「産地消」の家とも言える。

木をふんだんに使った洗面・脱衣室のアクセントになっているのは、洗面台正面のかわい

らしいタイル。奥さまが英国のアンティークを訪ねる旅に出かけた際に、工房で絵付けしてもらった思い出の品だ。玄関から納戸に続く扉や照明なども、できるだけゴミにしたいとの思いから、札幌の家で使っていたものを活用。「新しいものを買った方が、手間も価格も抑えられる時代です。扉を運んでサイズを合わせる方が大変だったと思うのですが、私たちの気持ちを汲んでくださったことに感謝しています」とご夫妻は言う。家づくりにまつわる思いを遠慮せずに伝えられたからこそ、新しい我が家への愛着も深まった。

暮らし始めて約1年が経った今、玄関には

シーサー、棚にはトールペイントやパッチワークなど奥さまが手作りの作品が並んでいる。骨董品も含めて和・洋が自然に溶け込んでしまうのは、無垢の木の力によるものだろう。おふたりと2匹のわんちゃん達のお気に入りスペースは、たっぷり日差しが注ぐ縁側。まさにふたつめのリビングなのだとか。家の心地よさはもちろんだが、移住後のお楽しみは、道の駅で野菜を買ったり穴場の温泉を探しにでかけるドライブ。今は噴火湾に面し、洞爺湖にほど近い伊達市の環境を満喫中だ。これまでの暮らしやモノを手放し、軽やかになった夫婦の生活は、とても豊かなものに感じられた。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 1 / 骨董市が好きで、奥さまのお気に入りを入れるように設けた和室。照明は以前使っていたもの |
| 3 | 4 | 2 / 大容量のウォークインクローゼットを備えた2階の寝室。扉はすべて、引き戸にしてもらった |
| | | 3 / トドマツ材の腰壁がアクセントになっているトイレは、車椅子が利用できるスペースを確保 |
| | | 4 / 庭と竹垣を眺めることができ、ヒバの香りに包まれた浴室。冬は温泉気分の雪見風呂が楽しめる |

Data

敷地面積 365.99㎡ (110.71坪)	◎工法 / 在来工法	◎床材 / ナラフローリング、赤松フローリング、コルクタイル	◎バスルーム / ハーフユニットバス、壁・天井:セバ羽目板
延床面積 121.09㎡ (36.62坪)	◎基礎 / 布基礎	◎開口部 / 外部:木製サッシ+樹脂サッシ(トリプルガラス)	◎その他 / ソーラーパネル、蓄電式
1階面積 80.73㎡ (24.42坪)	◎断熱材 / セルローズファイバー吹込みt105mm +木質繊維ボードt40mm	内部:オリジナル框組建具	◎竣工年月 / 2017年10月
2階面積 40.36㎡ (12.20坪)	◎屋根材 / ガルバリウム鋼板	◎暖房 / 灯油ボイラー、温水パネルセントラルヒーティング	◎工期 / 約180日
	◎外装材 / 1階:杉板下見張り 2階:窯業系サイディング下地リシン吹付	◎キッチン / オリジナル木製キッチン、クッキングヒーター	◎家族構成 / ご夫婦
	◎内装材 / 天井:杉板・和紙クロス 壁:ホタテ漆喰		

Point 設計のポイント

- 建具や家具に道産木材やホタテ漆喰を使った自然素材の家
- 万が一のことを考え、1階だけで車椅子でも生活できる設計に
- できるかぎり電力を自分たちでまかなうための太陽光発電・蓄電システム
- 使える物は大切に、以前の家で使っていた扉や照明を活用
- 以前の住まいから木々を移植した、きれいな庭を眺める縁側

有限会社 ビオプラス西條デザイン

【本社】〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel 011-774-8599 fax 011-774-8581
【伊達支店】〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
tel 0142-22-0138 fax 0142-22-0139
<http://www.saijo-d.com>

ネットでカタログ請求

※数社の資料をご希望の方は、000 ページの合同ハガキでお送りください。

単独・合同資料請求番号
会社情報を見る P000